

認知症当事者とつくった16のまちだアイステートメント

■町田市版 認知症にやさしいまちの指標

- ・ 本人視点から見た、目指すべき地域・社会の姿を、16項目の文章にしたもの。
- ・ 本メッセージにおける「私」とは、「現在認知症である私」と「これから認知症になり得る私」。

1	私は、早期に診断を受け、その後の治療や暮らしについて、主体的に考えられる。
2	私は、必要な支援の選択肢を幅広く持ち、自分に合った支援を選べる。
3	私は、望まない形で、病院・介護施設などに入れられることはない。望む場所で、尊厳と敬意をもって安らかな死を迎えることができる。
4	私には、私の言葉に耳を傾け、ともに考えてくれる医師がいる。
5	私は、家族に自分の気持ちを伝えることができ、家族に受け入れられている。
6	私の介護者は、その役割が尊重され、介護者のための適切な支援を受けている
7	私は、素でいられる居場所と仲間を持っており、一緒の時間を楽しんだり、自分が困っていることを話せる
8	私は、趣味や長年の習慣を続けている

9	私は、しごとや地域の活動を通じて、やりたいことにチャレンジし地域や社会に貢献している
10	私は、認知症について、地域の中で自然に学ぶ機会を持っている
11	私は、経済的な支援に関する情報を持っており、経済面で生活の見通しが立っている
12	私は、地域や自治体に対して、自分の体験を語ったり、地域への提言をする機会がある
13	私は、認知症であることを理由に差別や特別扱いをされない
14	私は、行きたい場所に行くことができ、気兼ねなく、買い物や食事を楽しむことができる
15	私は、支援が必要な時に、地域の人からさりげなく助けてもらうことができる
16	私たちも、認知症の人にやさしいまちづくりの一員です。